

問一 傍線部①とあるが、これはKのどのような点について述べたものか。説明せよ。

問二 傍線部②とあるが、何を指しているか。本文の言葉を用いて述べよ。

問三 傍線部③とあるが、

(1) 「狼のごとき心」と「罪のない羊」に用いられている表現技法をそれぞれ漢字で答えなさい。
ただし、答え方が複数ある場合は、より詳しく特徴を説明している語を使うこと。

(2) 何をたとえたものか。次の文に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次から選べ。

● 「狼のごとき心」は私の (A) 的な心を、「罪のない羊」はKの (B) な心をたとえたものである。

ア A 友好 B 無知 イ A 攻撃 B 純粹

ウ A 攻撃 B 脆弱 エ A 計画 B 友好

問四 傍線部④「君がやめたければ、①やめてもいいが、ただ口の先でやめたってしかたがあるまい。

君の心でそれを②やめるだけの覚悟がなければ」とあるが、①②はそれぞれ何を「やめる」ことを意味しているのか。最も適当なものを、それぞれ選べ。

ア お嬢さんの話 イ お嬢さんの恋 ウ 生きること エ 道を貫くこと

問五 傍線部⑤について、

(1) 「平生」の読み方を意味を答えなさい。

(2) どういうことか。最も適当なものを次から選べ。

問六 傍線部⑥とあるが、このとき、「私」とKの立場はどうなったのか説明せよ。

問七 傍線部⑦というKの言葉を、「私」はどのような意味に受け取ったか。「…覚悟」に接続するよう
に十二字程度で書け。

問八 傍線部⑧について、この表現が暗示する「私」の心理を説明せよ。